

9	改正増補英和対訳袖珍辞書		
	K012-58	明治2(1869)	堀達之助編 堀越亀之助補
	英和辞典。堀達之助が編集した『英和対訳袖珍辞書』を、堀越亀之助が中心となって改正増補したもの。		

- ◆ 文久2年(1862)発行の『英和対訳袖珍辞書』はわずか200部しか印刷されず、そのため、需要を満たしきれなかった。しかも訳語の不備もあった。そこで、堀越亀之助(1835-1921)を中心とした数人が、改正増補の手を加えて、慶応2年(1866)開成所から『改正増補英和対訳袖珍辞書』を発行した。文久版の半ページ分の脱落の補正の他、版木の使える範囲内での見出し語の変更、追加、削除、訳語の訂正などを行っている。巻末には「不規則動詞表」等が加えられている。初版は1000部出版され、翌慶応3年、さらに明治2年(1869)と版が重ねられた。

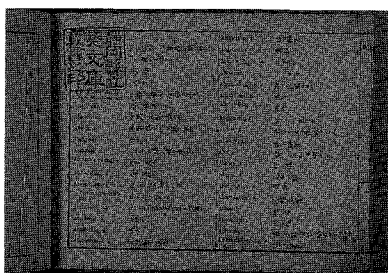
前書き(PREFACE)には、文久版の堀達之助の序を掲げ、その下に堀越亀之助の序文が置かれている(いずれも英文)。その中で堀越は、改正増補版出版のいきさつとその改訂の程度を述べている。これらの英文は当時の英学者の力を知る上で貴重である。

- ◆ 当館所蔵本は、標題紙に「慶応三年江戸再版」とあるが、最終丁に「明治二己巳年」とあり、明治2年の版であることがわかる。

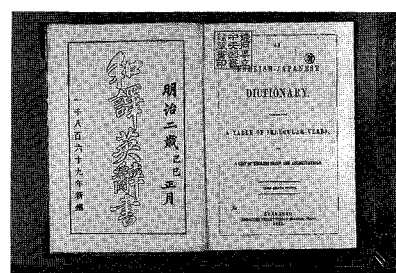
10	和訳英辞書(複製本)		
	833-34		日本薩摩学生編
	『英和対訳袖珍辞書』『改正増補英和対訳袖珍辞書』を継承した英和辞典。薩摩学生の編集によることから「薩摩辞書」の名がある。		

- ◆ 本書は『英和対訳袖珍辞書』(堀達之助編)、『改正増補英和対訳袖珍辞書』(堀越亀之助ほか改訂)を継承したものである。それを意識してか、英文のタイトルには、「Third Edition Revised」と明記されている。改正の要点として、英語の見出し語にカタカナによる発音表記を与えたこと、訳語の漢字に読みがなを振ったことが挙げられる。第2版の『大正増補和訳英辞林』(明治4年に書名を変更して出版)ではウェブスター式発音表記を用いたことにより、発音辞典としての役割も果たした。明治20年頃まで版を重ね、『附音挿図英和字彙』と並んで明治初期の英和辞書界の二大源流となった。
- ◆ 当館所蔵本は明治2年の初版の複製本。判形は『英和対訳袖珍辞書』『改正増補英和対訳袖珍辞書』と比較して大きくなり、ほぼ見開きB4判である。

<参考資料> 『日本英学史の研究』(830.1-100) 『和訳英辞書』(833-34)の解題部分
『大阪女子大学蔵日本英学資料解題』(830-37)



9 改正増補英和対訳袖珍辞書



10 和訳英辞書(複製本)